



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <https://www.linical.com/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,912	△27.2	△719	—	△700	—	△636	—
2026年3月期第1四半期	2,626	△10.3	△104	—	△164	—	△176	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △583百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △204百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△28.16	—
2026年3月期第1四半期	△7.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	11,063	3,211	29.0	142.19
2026年3月期	11,999	3,976	33.1	176.04

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,211百万円 2026年3月期 3,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,680	23.2	256	—	250	—	180	—	7.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	24,740,000株	2026年3月期	24,740,000株
2027年3月期1Q	2,153,569株	2026年3月期	2,153,569株
2027年3月期1Q	22,586,431株	2026年3月期1Q	22,586,431株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

① 当第1四半期連結累計期間の経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、韓国、台湾が増収となりましたが、米国での政府機関閉鎖等により複数案件で治験の開始時期が遅れた影響が続いた米国、欧州において、一部で試験が動き始めたものの、その他の部分については下期の開始となることから前年同期比で減収となりました。また日本でもドラッグ・ロス等により厳しい市場環境が続いており減収となりました。この結果、連結の売上高は1,912百万円（前年同期比27.2%減）となりました。利益面では、売上が好調であった韓国、台湾が前年同期比で増益となりましたが、上記の理由から下期の複数案件の試験開始に向けて売上の回復途上にある米国、欧州が前年同期比で営業赤字化、日本も営業赤字が継続しました。この結果、719百万円の営業損失（前年同期は104百万円の営業損失）となりました。経常損失は700百万円（前年同期は164百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は636百万円（前年同期は176百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、CRO事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。

② 地域別の状況

地域別の状況は下記のとおりであります。

日本においては、厳しい市場環境に加え、既存案件の規模縮小による契約変更が発生した影響等もあり前年同期比で減収、営業赤字となりました。足元では欧米及びアジア事業と連携し国内外の営業活動を継続することで受注を獲得しております。引き続き人員稼働率向上のための施策の遂行と経費の厳密な管理により業績改善に努めます。

米国においては、米国、欧州、豪州を含む複数の大型国際共同治験の受注内諾を得て契約締結手続きを進めており、既に契約されたものの米国での政府機関閉鎖等の影響で実質的に中断していたその一部が工数追加の契約変更の上で再開され受注残高に計上されるとともに売上高にも寄与しております。一方でその他の部分については下期の開始に向けて契約内容を調整中であり、前年同期比で減収、営業赤字となりました。なお、現在は政府機関閉鎖の影響は解消しており、また、規制当局の大幅な人員削減により混乱のあった医薬品開発の対応も正常化しつつある状況です。引き続き、有望な米国市場において既存顧客との取引拡大と有望なバイオテックからの新規案件獲得に注力し、業績の改善を図ってまいります。

欧州においては、米国、欧州、豪州を含む複数の大型国際共同治験が米国で4月以降再開した一方で、欧州での本格稼働は第2四半期以降となること等もあり、前年同期比で減収、営業赤字となりました。引き続き米国等他拠点と連携し欧州内の案件獲得に向けて営業活動に注力し、稼働率を高め収益改善に努めます。

韓国においては、複数の既存案件でプロジェクトの進捗が想定を上回ったため前年同期比で増収、営業黒字化しました。引き続き日本・アジア地域等他拠点と連携し、国内外企業からの受注獲得に向け営業活動を進めてまいります。

中国においては、前年同期比で僅かに増収となりましたが、利益面では営業赤字となりました。足元では現地での営業体制強化の効果もあり、現地製薬会社・バイオテックからの引き合いも増加しております。日系企業への中国での治験ニーズの開拓に加え、現地企業の日本を含むグローバル開発ニーズを深耕すべく引き続き営業活動を継続してまいります。

台湾においては、新規案件の獲得等により前年同期比で増収増益となりました。国内外で開発を進める台湾バイオテック等から複数の新規案件の打診を受けており、引き続き積極的な営業活動を継続しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ936百万円（7.8%）減少し、11,063百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ171百万円（2.1%）減少し、7,851百万円となりました。これは、主に預り金が増加する一方、短期借入金、未払金、前受金、長期借入金が減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ764百万円（19.2%）減少し、3,211百万円となりました。これは、主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第1四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは、日本・アジア、欧米の製薬会社・バイオテックから新薬開発業務を受託し迅速・高品質にこれを推し進め、既存のCROとの差別化を図ってまいります。

2027年3月期通期の業績予想につきましては、本年5月15日に発表いたしました内容に変更はありません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務や新薬発売後の臨床研究では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から5年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

		2026年 3月期末 (A)	2027年3月期		増減率% (B-A)/A
			第1四半期末	2026年8月 14日時点 (B)	
受注残高		11,673	12,273	11,798	1.1
地域別	日本	3,942	3,104	3,135	△20.5
	米国	2,748	3,501	3,333	21.3
	欧州	3,022	3,956	3,681	21.8
	アジア	1,959	1,710	1,647	△15.9

各地域の受注状況につきましては、以下のとおりです。

日本においては、既存案件の受注残を順調に消化するとともに工数減少の契約変更が発生したことにより、2026年3月期末から受注残高は減少いたしました。日本ではドラッグ・ロスによる厳しい事業環境が続いておりますが、米国が前期に獲得した大型国際共同治験において日本を含む規模拡大の変更契約があった他、直近で日系製薬会社から米国、欧州を含むグローバル試験の受注内諾を得るなど、受注残高にはまだ反映されていない成果も獲得しております。引き続き、グループ各社と協力して積極的な営業活動を継続し、国内外の開発案件の獲得に努めてまいります。

米国においては、前期に受注した米国、欧州、豪州を含む複数の大型国際共同治験の工数増加の契約変更が完了したことや、主に米国で実施される新規案件の契約が完了したこと等により、2026年3月期末から受注残高が増加いたしました。上述の受注案件のうち契約締結前の複数案件は上記の受注残高には含まれておらず、今後契約が完了した時点で受注残高に追加される予定です。また、直近でも米国で実施される新規案件の内諾を受けるなど、米国バイオテックを中心にグローバル案件を含む多数の案件の打診を受けており、受注残高を積み上げるべく営業活動に注力しております。

欧州においては、米国が受注した大型国際共同治験において工数増加の契約変更が完了し、その欧州分の受注残高が増加したことに加え、主に欧州で実施される新規案件の契約が完了したこと等により2026年3月期末から受注残高が増加いたしました。一方で、上述の大型国際共同治験のうち契約締結手続き中のものなど、上記の受注残高には含まれない契約締結前の案件があります。米国事業を中心にグローバル・シナジーをさらに強化することで、欧州を含む新規案件の受注獲得を拡大してまいります。

以上の受注状況のもと、2026年8月14日時点の受注残高は117億円となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,204,281	4,676,537
売掛金及び契約資産	1,738,933	1,520,902
前払費用	280,862	232,094
立替金	559,962	426,528
その他	590,152	554,250
貸倒引当金	△39,017	△38,419
流動資産合計	8,335,175	7,371,894
固定資産		
有形固定資産	319,879	302,801
無形固定資産		
のれん	2,176,039	2,146,040
その他	70,053	64,044
無形固定資産合計	2,246,093	2,210,085
投資その他の資産		
投資有価証券	245,383	252,627
長期前払費用	14,978	7,746
差入保証金	242,063	242,810
繰延税金資産	596,058	675,216
投資その他の資産合計	1,098,484	1,178,400
固定資産合計	3,664,457	3,691,288
資産合計	11,999,633	11,063,182

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	950,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	400,008	400,008
未払金	480,636	387,144
未払費用	298,689	261,852
未払法人税等	15,576	10,713
未払消費税等	34,274	45,379
前受金	1,913,725	1,766,678
預り金	2,047,728	2,433,866
賞与引当金	137,050	67,943
その他	104,803	84,627
流動負債合計	6,382,494	6,308,214
固定負債		
長期借入金	699,934	599,932
リース債務	200,373	189,047
退職給付に係る負債	711,188	725,786
その他	29,449	28,530
固定負債合計	1,640,945	1,543,295
負債合計	8,023,439	7,851,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
利益剰余金	2,746,370	1,929,574
自己株式	△657,464	△657,464
株主資本合計	2,302,949	1,486,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,703	20,734
為替換算調整勘定	1,571,106	1,623,058
退職給付に係る調整累計額	88,432	81,725
その他の包括利益累計額合計	1,673,243	1,725,518
純資産合計	3,976,193	3,211,671
負債純資産合計	11,999,633	11,063,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,626,148	1,912,888
売上原価	1,917,203	1,857,119
売上総利益	708,944	55,769
販売費及び一般管理費	813,059	775,362
営業損失(△)	△104,115	△719,592
営業外収益		
受取利息	15,218	6,098
為替差益	—	12,048
投資有価証券評価益	12,869	6,363
営業外収益合計	28,088	24,510
営業外費用		
支払利息	5,347	5,823
為替差損	82,525	—
投資有価証券評価損	500	—
営業外費用合計	88,373	5,823
経常損失(△)	△164,401	△700,905
税金等調整前四半期純損失(△)	△164,401	△700,905
法人税、住民税及び事業税	53,550	3,875
法人税等調整額	△41,141	△68,676
法人税等合計	12,408	△64,800
四半期純損失(△)	△176,809	△636,105
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△176,809	△636,105

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△176,809	△636,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,536	7,030
為替換算調整勘定	△27,301	51,951
退職給付に係る調整額	△3,269	△6,706
その他の包括利益合計	△28,035	52,275
四半期包括利益	△204,845	△583,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△204,845	△583,829

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、CRO事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

当社グループは、CRO事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	34,808千円	31,719千円
のれんの償却額	88,378	69,198

(収益認識関係の注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
日本	875,987	752,454
米国	811,036	405,074
欧州	754,894	440,753
アジア	184,229	314,605
顧客との契約から生じる収益	2,626,148	1,912,888
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	2,626,148	1,912,888

(注) 地域ごとの売上高は、サービスの提供地を基礎とし、国または地域に分類しております。